

ゆづぎの力で未来を育む

米沢には、環境にやさしい栽培方法で農作物を育てる農業者の皆さんがいます。

そんな農業者の皆さんの熱意を後押しするために、本市では令和4年度に「米沢市オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

有機栽培っていったい何？どんな人が作っているの？そんな疑問に、少しだけお答えします。

■問合せ／農政課農産担当

有機栽培とは？

農薬や化学肥料などに頼らないで農作物を育てる栽培方法のこと。化学肥料の代わりに牛や鶏のフンなど、天然由来の肥料などを使って、栽培します。

米沢有機農業産地づくり推進協議会とは？

生産・加工、流通・販売、学術機関など幅広い分野の関係団体で設立した協議会で、国のみどりの食料システム戦略推進交付金を活用し、本市における有機農業をはじめとした環境保全型農業の拡大および発展に向けて様々な事業に取り組んでいます。

活動の一部をご紹介します

小中学校における有機栽培米提供事業および農業者講話の実施

令和4年度は、学校給食に有機栽培米つや姫を5回提供しました。

また、小学校7校に生産者が出向き、有機栽培の講話を行いました。

令和5年度には9月に有機栽培タマネギを提供し、有機栽培米も同年度内に3回提供する予定です。



よねざわオーガニック&ナチュラルフードフェアの開催

市役所市民ホールで、有機栽培や自然栽培で生産した農産物および加工品の販売会を行いました。多くの皆さんに立ち寄っていただき、大盛況でした。



有機栽培転換補助事業の実施

慣行栽培から有機栽培に一部でも転換する意思のある農業者に対して、発生する経費の一部を補助する事業を行っています。

また、その後も有機栽培を続けていけるように置賜総合支庁農業技術普及課と連携してフォロー研修を行っています。



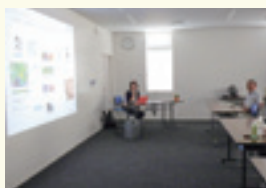
タマネギの有機栽培実証圃場の設置

有機農産物の活用方法の検討を目的に、令和4年度にタマネギの有機栽培実証圃場を設置しました。令和5年度には収穫したタマネギを学校給食に提供したり、市内の旅館に試用品として配布するなど、様々な実証を行いました。



EC 販売研修会の実施

有機農業者が新たな販路開拓に向けた実践的な知識を学ぶ機会として、産直通販サイト活用の研修会を行いました。



これからも様々な取り組み、情報発信をしていきます！



地域おこし協力隊

八達優子

有機農家の皆さんへインタビュー

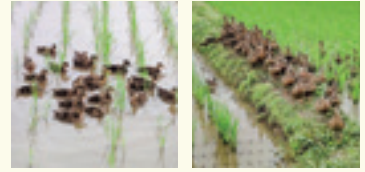
平成18年からお米の有機栽培を始め、現在はつや姫・コシヒカリ・山形95号を生産しています。^{*}260aの田んぼに雑草や虫を食べてくれるマガモを約100羽放すことで、マガモが泳いで田んぼの水が濁り、太陽光が入らず雑草が育ちにくくなります。田植えをしてから3日目ぐらいにマガモを放すのですが、このタイミングが大事なんです。^{*}1a=100㎡

お米の味はもとより収量にもこだわって生産しており、10aあたり必ず600kgの収穫量を目指して栽培をしています。有機100%の肥料を使うことで土が肥えて、微生物が増え、お米の収穫量も上がります。

現在は主にふるさと納税の返礼品として出荷していますが、米沢の人にもぜひ味わってほしいですね。



独自のマガモ農法で環境に優しいお米を届けたい



しまぬき せいこう
島貫 清孝さん (窪田)

大学生の時は県外にいましたが、そこで置賜の有機栽培が盛んであることを友人に聞き、地元置賜に戻ることを決めました。

置賜の様々な地域で農業を学び、その後米沢で有機栽培を始めました。お米・大豆・きゅうりを主に生産しています。

農薬は使わず、生態系を守りながら生産することにこだわっています。土を肥やすことで害虫を捕食する益虫が生きやすい環境を作れば、土壌環境を整えてくれる微生物が増え、好循環につながります。

今後は、有機農家の仲間や将来を担う若手農業者をもっと増やしていきたいです。最近では、米沢に移住して農業を始める人もいて、とても嬉しく思っています。

生態系のバランスを考え好循環な土壌をつくる



こせき やすひろ
小関 恭弘さん (塩井)

鹿児島県から妻の地元である米沢に移住して、3年前に就農しました。最初は慣行栽培でしたが、子どもに有機野菜を食べさせたいという思いから有機栽培に切り替えました。小関さんなどに有機栽培のことを教わり、現在では、タマネギ・ソバ・カボチャ・サツマイモを主に生産しています。

できるだけ自然栽培にこだわり、肥料も最小限。農薬は一切使いません。

今後、市内の飲食店で自分が生産した有機野菜が使われ、たくさんの方が食べてくれたら嬉しいですね。あとは、学校給食の野菜を有機野菜に変えていくことが目標です。

オーガニックビレッジ宣言をした米沢で、これからも有機栽培を盛り上げていきます。

鹿児島から米沢へ地球に人に優しい野菜を



やまざわ ひろふみ
山澤 博文さん (南原)